

会 議 等 報 告 書

会議年月日	平成23年 8月22日 (月)
会議場所	中央公民館 1階 講堂
用 務	次世代育成支援対策地域協議会
参加者	協議会委員16名 (別紙のとおり) 柴委員 欠席 事務局 木村課長 花沢班長 佐藤
<p>1 委嘱状交付</p> <p>(1) 委嘱状の交付 内田副町長より各委員に委嘱状を交付</p> <p>(2) 副町長あいさつ 内田副町長よりあいさつ</p> <p>2 大網白里町次世代育成支援対策地域協議会</p> <p>(1) 開 会 会長及び副会長が選任されるまでの間、事務局で進行</p> <p>(2) 会長及び副会長の選任について 「大網白里町次世代育成支援対策地域協議会設置要綱」第5条の規定に基づき会長及び副会長を選任。会長には高橋淳子委員、副会長に内田文雄委員が選任された。</p> <p>(3) 会長あいさつ 高橋淳子会長よりあいさつ</p> <p>(4) 議題</p> <p>① 計画の進捗状況について (平成22年度事業実施状況) 事務局より「大網白里町次世代育成支援対策地域行動計画 平成22年度事業実施状況 (資料1)」ほか (資料2から資料4まで) に基づき、計画の進捗状況等について説明を行った。 《意見等》 <委員> スクールカウンセラーを3中学校だけではなく、週1日か2日でも、小学校に設置し</p>	

てはどうか。

小学校においても相談を必要とする児童及びその家庭は少なくないことから、より相談しやすい環境が築けるのではないか。

<管理課長>

現在設置している3中学校のスクールカウンセラーについては、各中学校の学区内にある小学校の相談にも応じる体制となっている。

そして、そのことは小学校に通われているすべての家庭に周知を行なっている。

また、相談を必要とする家庭への支援としては、スクールカウンセラーの設置のみではなく、子どもと親の相談員の設置や、ハートフルさんぶ「大網教室」として適応指導教室等の施策を実施している。

※ 重点的にとりくむべき事業及び平成22年度事業実施について、町が作成した意見等提出様式により、委員から意見をいただくこととなった。

② 大網学童保育室の民間委託について

ア 事務局より議題「大網学童保育室の民間委託について」の協議会への提案趣旨を説明した。

イ NPO法人民間児童館 おおきなかぶ から「大網小学校学童保育を官民協働で運営するご提案」という題名で提案があった。

《意見等》

<委員>

今回の議題として趣旨について、もう一度確認したい。

<事務局>

今年6月におおきなかぶさんから公設公営の学童保育室を民間委託するという形で、協働できないかという趣旨の提案があった。

おおきなかぶさんの提案を一例として、協働という観点から公設民営という運営方法の是非について、今後の検討に資するため、教育・福祉分野等の知識と経験をお持ちの協議会の皆様意見いただきたく提案した。

<委員>

おおきなかぶさんの提案のなかには、障害児への対応という内容がなかったが、どのように考えられているのか。

<おおきなかぶ>

この提案については、入所手続きは町で行ない、学童保育室の運営をおおきなかぶで行なうという提案である。

町が入所手続きを行なう限りは、おおきなかぶが障害を理由に入所を断ることができないと認識している。

<委員>

そういった趣旨ではなく、障害児の受入れについて、実際の保育でどのような対応

を考えているのかお聞きしたい。

<おおきなかぶ>

現段階では、具体的には考えていないが、町と同様の対応をしたい。また、現状をお話すると障害児を受け入れた実績はない。

<委員>

町においては、どのような対応をしているのか。

<事務局>

町においては、障害児担当の指導員を設定し、毎年、町内小学校の養護教諭を講師としてお招きして研修を実施している。

<委員>

提案の説明のなかに、小さいころにいろいろな体験をしている子のほうが、将来、高収入、高学歴になるといった趣旨の説明があったが、高収入・高学歴が良いとの考えをひとつの方針として、学童保育室を運営されているのか。

高収入・高学歴ではない方々でも、十分に幸せな生活をしている方がいる。

<おおきなかぶ>

そういった方針で運営しているわけではない。

国で行なった調査の結果、たまたま、そのような傾向がでたということである。

<委員>

私は、平成22年度から支出が開始された補助金について、その決定に携わった。

そのときの話では、3年間は補助事業者として実績を残すとともに、学童保育室の運営という面において十分に組織の力をつけたうえで、民間委託の検討を行なうということであったはずである。

補助事業者として、1年半という期間は少し短く、時期尚早な印象を受ける。

※ 町が作成した意見等提出様式により、委員から意見をいただくこととなった。

③ 今後のスケジュールについて

事務局より「行動計画策定スケジュール」について説明を行った。

《 内 容 》

協議会を開催し、計画の進捗状況について再度確認を行う。(平成24年度又は平成25年度に協議会を開催)

④ その他

(5) 閉 会